

つなぐ



諫早市立大草小学校
特別支援教育
コーディネーターだより
H31.3.18 最終号
文責 林田

😊 間もなく1年が終わろうとしています 😊

平成30年度が間もなく終わります。この1年、子どもたちは、それぞれの学年に応じた学習に取り組むと共に、様々な学校行事でたくさんの経験を重ねてきました。毎日一緒に生活していると気付かないかもしれませんが、一人一人確実に成長した姿が見られますね。

特に、1年生は、入学した頃と比べると、できるようになったことがたくさんあるのではないのでしょうか。



また、明日卒業式を迎える6年生依里さんは、この1年で大草小のリーダーとして立派に成長しました。

28人の子どもたちの個性は様々ですが、それぞれのペースで確実に階段を上ることができたのは、やはり保護者の皆様と担任を始めとする学校職員との連携がうまくいったからと思うのは言い過ぎでしょうか？もちろん、大草塾等でご協力いただいた地域の方々のおかげも忘れてはいけませんね。



少しずつステップアップ



この1年、特別支援コーディネーター便り「つなぐ」を通して、保護者の皆様のお役に立つ情報を発信しようと心掛けてきました。子どもたちの個性や特性を理解し、私たち大人が適切な支援をしていくことが子どもの成長にとっても大切だと考えたからです。特に、小規模校である本校の良さを生かすことができるよう、つまり、「よその子も我が子と同じ気持ちで育てる」「その子に合った『前向きな言葉かけ』を心掛ける」ことができるようにという願いも込めました。「常笑大草！」の学校目標通り、学校そして地域全体が、子どもたちの笑顔でいっぱいになったのでしょうか？

社会は様々な人々の集合体です。子どもたちが将来、周囲の人たちと良好な人間関係を築き、「自分らしさ」を発揮しながら生活していくことができるよう、これからも学校・保護者・地域で連携していきましょう。

「あそこの子は、～だもんね。」が悪い意味で使われるのではなく、「あそこの子は、～だけど、～してやれば頑張れるよ。」「～だけど、～は上手にできるよ。」というようにいい意味で(前向きに)使われるようになることを願っています。特別支援教育の考えが「特別」なものではなく「普通」のこととして取り入れられていく大草になりますように…。

発達障害等について理解を進めるための世界的な動きとの1つとして以下をご紹介します、平成30年度の「つなぐ」を締めくくります。1年間、ありがとうございました。

【4月2日 世界自閉症啓発デー】

国連総会(H19.12.18 開催)において、カタール王国王妃の提案により、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」(World Autism Awareness Day)とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。

日本でも、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会が組織され、自閉症をはじめとする発達障害について、広く啓発する活動が行われています。

また、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日を発達障害啓発週間となっています。